

TJB 学生編集部特集 : AsOBiNet

進化するネットワーク

大久保 美香 (東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程、TJB 学生編集部)

あそびネットとは、筑波大学生命環境科学研究科が中心となって立ち上げた、生物学を学ぶ学生のための国際的ネットワークである。2006年からこれまで、つくば、北京、タイ・ベトナムの三回にわたって、中国、オーストラリア、タイ、ベトナムの大学院生との交流を行ってきた。その活動内容は、今月号に同時掲載されている記事『AsOBiNet_体験記』と『AsOBiNet_体験談』を参考にされたい。

あそびネットの第一の魅力はメンバーの熱意である。学生メンバーは生物学類と生命環境科学研究科の学生からなる。専門とする学問領域や参加動機はそれぞれ様々であるが、共通して言えるのは、やる気と能力に溢れた、各学年の代表というにふさわしい人材だということだ。また、発起人である白岩教授を筆頭に、熱意ある先生方があそびネットを強力にサポートしている。

また、組織の柔軟性もあそびネットの魅力である。例えば、第一回のつくば、第三回のタイ・ベトナムでの交流会はユネスコ ACCU (ユネスコ・アジア文化センター) の「大学生交流プログラム」より支援を受けた国際交流プロジェクトとして行われて

いるが、第二回の北京での交流会は、生命環境科学研究科と中国の大学、研究機関との交流協定締結に合わせ、筑波大からの支援を受けて行われた。また、2009年に筑波大学で開かれる国際生物学オリンピックとの連携企画も予定されている。その他、筑波大学の一般学生と留学生の交流を目的とする COSMOS カフェに参加し、ネットワークを広げているメンバーもいる。

すでに、あそびネットがきっかけとなりカセサート大学 (タイ王国) と本学との共同研究が生まれるなど、設立して1年半とは思えない成果を上げている。生命環境科学研究科がアジア・太平洋地域の生物学を牽引する存在となるためにも、あそびネットの今後のさらなる発展を期待したい。

Communicated by Shinobu Satoh, Received April 24, 2008.

Revised version received October 14, 2008.